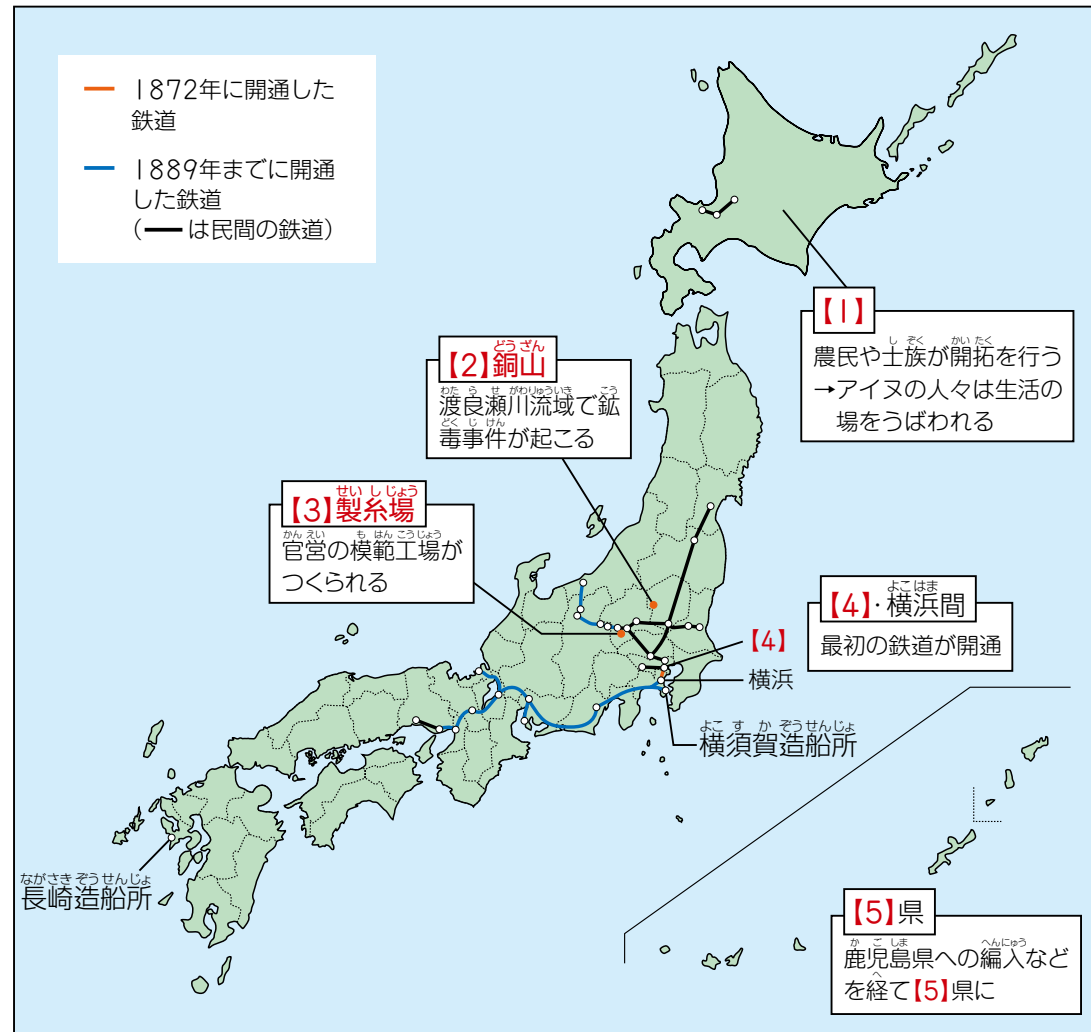


明治時代の始まり

約260年間続いた江戸幕府がたおれて、日本は大きな変化の時代をむかえます。明治時代初めごろの社会の様子についておさえましょう。



明治時代の日本

遷都と廃藩置県

- 明治政府は、1868年に五箇条の御誓文を発表して新しい政治方針を明らかにすると、江戸を【6】と改めたのち、天皇と政府の役所を京都から【6】に移しました。
- 1869年の版籍奉還に次いで、1871年には【7】を行い、全国に府や県を置いて、中央から政府の役人である府知事・県令を送りこみました。

明治時代の北海道・沖縄

- 15世紀から続いてきた【8】王国は廃止されて首里城から国王が追放され、1879年に【5】県が置かれました。
- かつて蝦夷地と呼ばれていた【1】には、農民や士族を移住させて開拓にあたらせ、先住民のアイヌの人々から生活の場をうばっていきました。

文明開化と殖産興業

- 明治時代の日本では、欧米の制度や技術、生活のしかたが取り入れられて人々の生活が大きく変わりました（文明開化）。【6】・大阪・横浜などの大都市では、れんがづくりの建物やガス灯ができ、西洋風の食事や服装も広まりました。
- 1869年に【6】・横浜間で電信が開通し、1871年には【6】・京都・大阪の間で郵便が始まりました。
- 1872年、【4】（東京都）・横浜（神奈川県）間に最初の鉄道が開通し、その後、神戸（兵庫県）・大阪・京都などの間にも鉄道が開通していきました。
- 近代的な産業を発展させるため、政府は各地に官営の工場をつくりました。特にフランスの技術を取り入れた【3】製糸場（群馬県）などで生産された生糸は、重要な輸出品でした。
- 産業が発展する中、政府から銅山をはらい下げられた民間の企業によって石炭や銅の輸出も増えていきました。一方で、【2】銅山（栃木県）から出た有毒な物質が渡良瀬川や流域の耕地に流れこみ、魚が大量に死んだり稲が枯れたりするという公害も起こりました（【2】銅山鉱毒事件）。

ポイント 地図で場所を確かめよう！

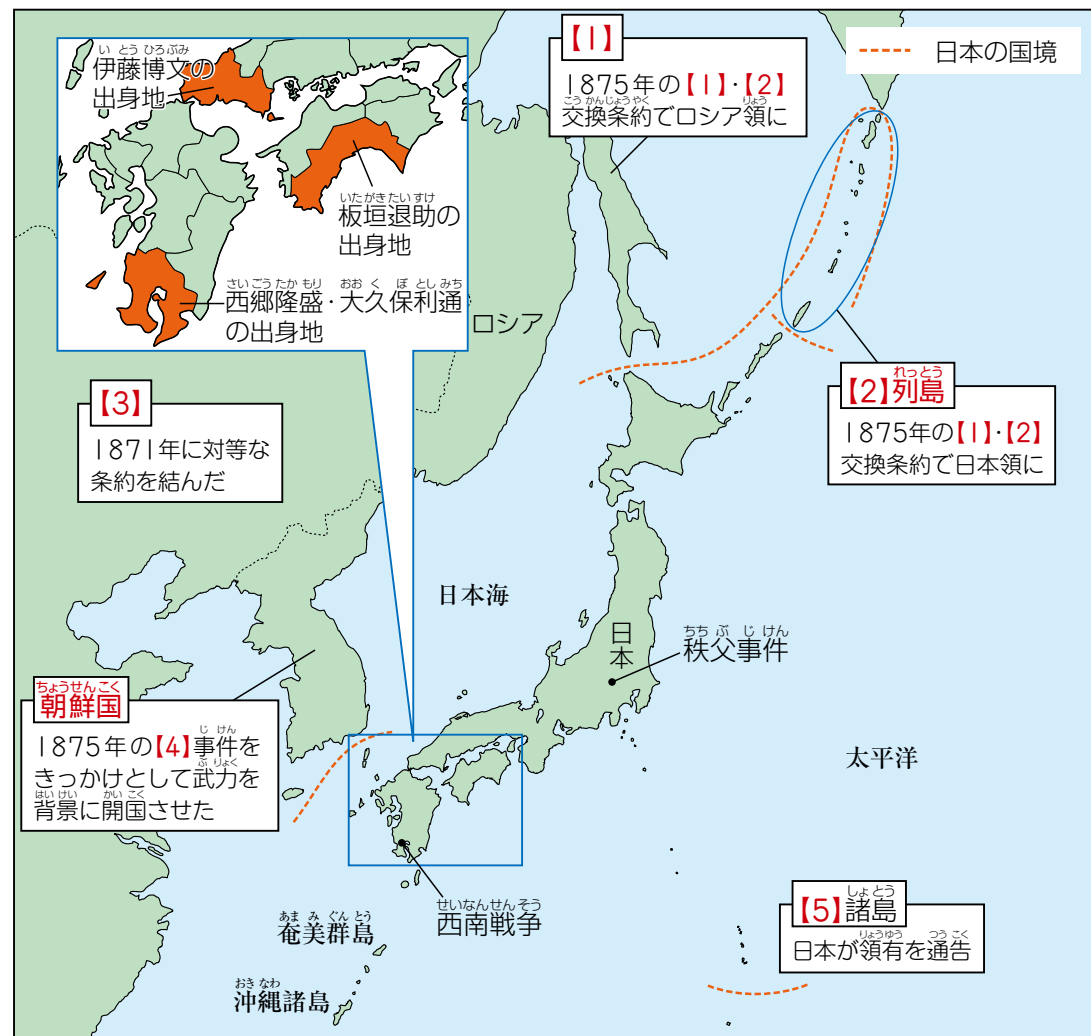
- 最初の鉄道…新橋・横浜間に開通
- 富岡製糸場（群馬県）…官営の製糸場で生糸を生産
- 足尾銅山（栃木県）…渡良瀬川流域で鉱毒事件が起こる

入試ではここが問われる！

- 富岡製糸場や足尾銅山の場所を選ぶ地図問題はよく出題されます。
- 沖縄県については、地図を示して琉球王国の時代から戦後の沖縄返還までの流れを問うといった問題も見られます。

明治時代の外交と立憲政治の成立

できたばかりの明治政府が行った外交政策と、憲法の制定までの道のりについて、地図を見ながら整理しましょう。



明治時代の日本と周辺の国々

明治政府と諸外国

- 1871年、岩倉具視を中心とする政府の使節団（**岩倉使節団**）が欧米の国々に向かい、政治制度や産業などを学んで1873年に帰国しました。
- 中国の【3】とは、1871年に対等な立場で日清修好条規を結びました。
- ロシアとは、1875年に【1】・【2】交換条約を結んで国境を定めました。この条約で、【1】（サハリン）はロシア領、【2】列島は日本領となりました。
- 1876年、日本は【5】諸島の領有をイギリスなどに通告しました。

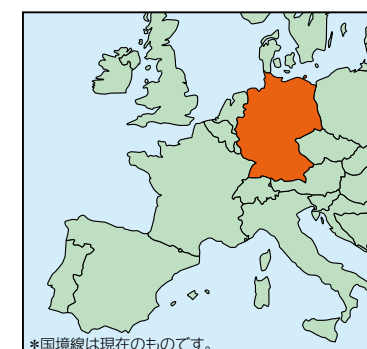
- 鎖国政策をとる朝鮮国（朝鮮）に対し、西郷隆盛（薩摩藩出身）、板垣退助（土佐藩出身）らは武力で開国をせまることを主張しましたが（征韓論）、大久保利通（薩摩藩出身）らに反対されて政府を去りました。
- その後、【4】沖で無断で測量を行っていた日本の軍艦が朝鮮国から砲撃されるという1875年の【4】事件をきっかけとして、日本は1876年に日朝修好条規を結び、朝鮮国を開国させました。

政府への不満と自由民権運動

- 明治政府の改革により特権を失った士族は、各地で反乱を起こしました。西郷隆盛を中心として【6】県で起こされた西南戦争（1877年）は、その最大のもので、政府は徴兵令に基づく近代的な軍隊でこれをしずめました。
- 一方、議会の開いて広く国民の意見を聞くべきだと主張する板垣退助らによって起こされた【7】運動が全国に広まる中、1881年、政府はついに国会を1890年に開設することを約束しました。
- 自由民権運動が激化する中、生活に困った農民が1884年に秩父事件を起こすと、政府は政治活動に対する取りしまりを強めました。

大日本帝国憲法

- 国会開設に先立ち、政府は【8】（長州藩出身）をヨーロッパに送り、各国の憲法や政治について調べさせました。
- 【8】は皇帝の権力が強い【9】の憲法を学んで帰国し、内閣制度をつくって初代の内閣総理大臣となり、憲法の作成を進めました。そして、1889年に大日本帝国憲法が公布されました。



ドイツの位置

ポイント ヨーロッパの地図も見ておこう！

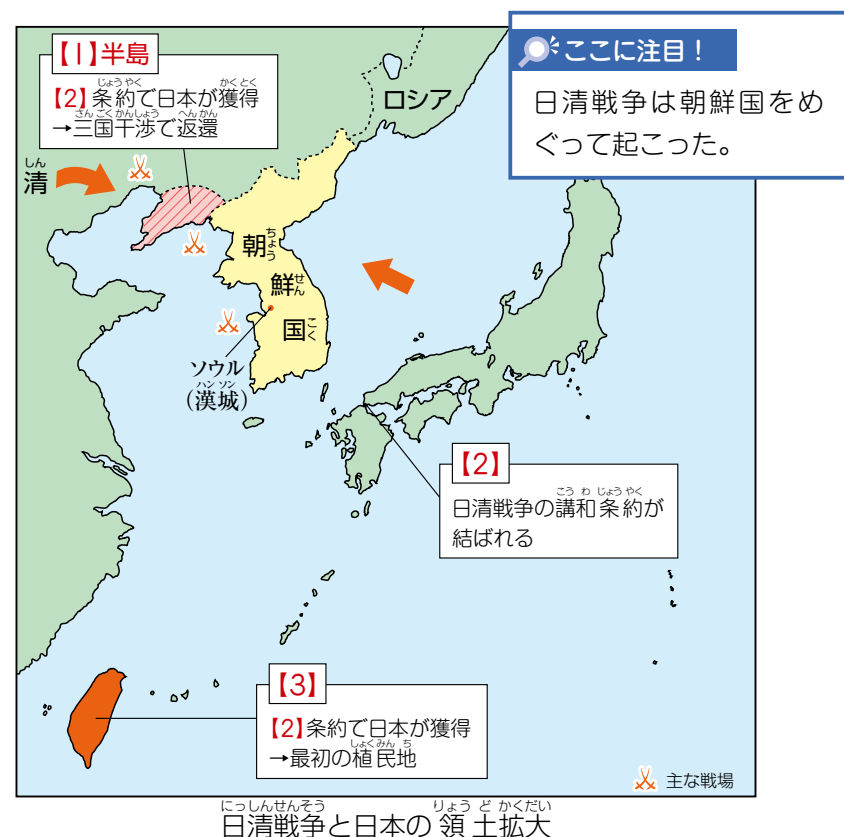
- 千島列島…1875年の樺太・千島交換条約で日本領
- 大日本帝国憲法…ドイツの憲法を参考にして作成

入試ではここが問われる！

- 大日本帝国憲法と関連させてドイツの位置を問う地図問題は、たびたび出題されています。
- 明治時代の主な政治家の出身地を地図から選ばせる問題も見られます。



明治時代に富国強兵政策を進めた日本は、領土の拡大をはかって外国との戦争を行うようになります。ここでは日清戦争について見ていきましょう。



日清戦争の開戦

- 明治政府は、1875年の江華島事件をきっかけとして1876年に朝鮮国（朝鮮）と日朝修好条規を結び、領事裁判権などの不平等な内容をおしつけました。
- 中国の清は、以前から朝鮮国に対して大きなえいきょう力をもっていたため、朝鮮国をめぐる清と日本の対立が深まっていきました。
- 1894年に朝鮮国内乱が起こると、清と日本が相次いで朝鮮に軍隊を送りました。こうして日清戦争が始まりました。

日清戦争の結果

- 日清戦争は、明治政府のもとで軍隊の近代化を進めていた日本の勝利に終わり、1895年、日本の【2】（山口県）で講和会議が開かれ、【2】条約が結ばれました。
- 日本は、【2】条約で清から【3】・【1】半島などの領土と多額の賠償金を手に入れるとともに、朝鮮の独立を清に認めさせました。
- 満州（中国東北部）に勢力を広げようとしていたロシアは、【4】・ドイツをさそい、【1】半島を返すよう日本に強く求めました。日本はこの3国の軍事力にはかなわないと判断し、【1】半島を清に返しました（三国干渉）。

日清戦争後の日本

- 日本は、【2】条約で獲得した【3】を最初の植民地として、【3】総督府を置きました。
- 日本が得た賠償金は、戦争にかかった費用よりはるかに多い金額でした。明治政府は、賠償金の一部を使い、北九州（福岡県）に官営の八幡製鉄所をつくりました。
- 八幡製鉄所は1901年に生産を開始し、中国から鉄鉱石を輸入して原料とし、九州の筑豊炭田でとれる石炭を燃料にして製鉄を行い、やがて国内の鉄の約8割を生産するようになりました。



ポイント 獲得した領土を覚えよう！

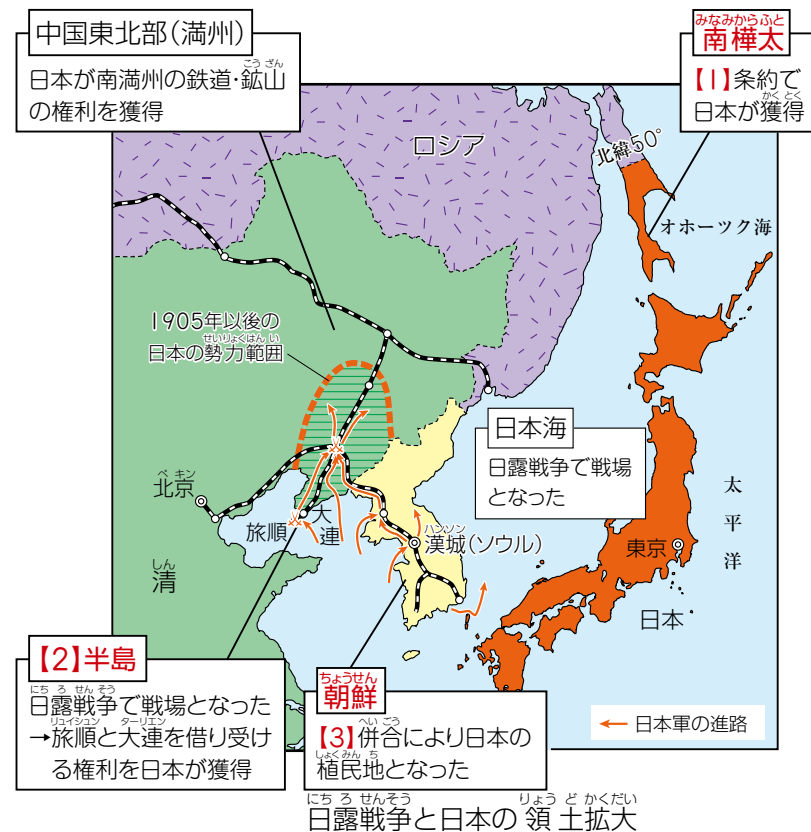
- 日清戦争によって獲得した領土…台湾・遼東半島など
→三国干渉で遼東半島は返還
- 日清戦争の講和条約が結ばれた地…下関
- 八幡製鉄所がつくられた地…北九州

入試ではここが問われる！

- 下関条約で日本が得た領土はよく出題されており、三国干渉で返還した地域、植民地として支配を続けた地域の区別が必要です。
- 下関や八幡製鉄所の位置を問う問題も見られます。



19世紀末に日清戦争に勝利した日本は、ロシアと対立を深めていきました。
日露戦争が起こった20世紀初めごろの日本について見ていきましょう。



日清戦争後の東アジア

- 清の力がおとろえているのを知ったヨーロッパ諸国は、競って中国各地に進出し、鉄道をつくる権利、鉱山を経営する権利などを得ていきました。
- ロシアは、日本に対する三国干渉で【2】半島を清に返還させたのち、【2】半島南部の旅順と大連を借り受け、中国東北部に勢力をのばしました。
- ロシアとの対立を深めた日本は、1902年、ロシアの動きを警戒するイギリスとの間に【4】同盟を結びました。

日露戦争とポーツマス条約

- 1904年、日本がロシアに宣戦し、日露戦争が始まりました。
- 日本軍は、強大なロシア軍を相手に苦戦しながらも、旅順を占領するなど戦果を上げました。1905年には日本海での戦い（日本海海戦）で、東郷平八郎の率いる連合艦隊が、ロシアのバルチック艦隊を破りました。
- 日本とロシアは、資金の不足や国内情勢の悪化から戦争を続けられなくなり、1905年9月、アメリカ合衆国（アメリカ）大統領の仲立ちにより、【1】条約を結びました。【1】はアメリカ北東部の地名です。

ポーツマス条約の主な内容

- ロシアは樺太（サハリン）の南部を日本にゆずる。
- ロシアが清から借りていた旅順と大連は、日本が借り受ける。
- ロシアは南満州鉄道を日本にゆずる。
- ロシアは日本が【3】を指導することを認める。

韓国併合

- 朝鮮国（朝鮮）は、日清戦争後の1897年、国号を大韓帝国（【3】）と改めました。
- 日露戦争後の【1】条約で韓国に対する立場を強めた日本は、外交や国内政治を行う権利を【3】から次々にうばっていきました。
- 1910年には【3】を併合し、朝鮮を植民地として朝鮮総督府を置きました。

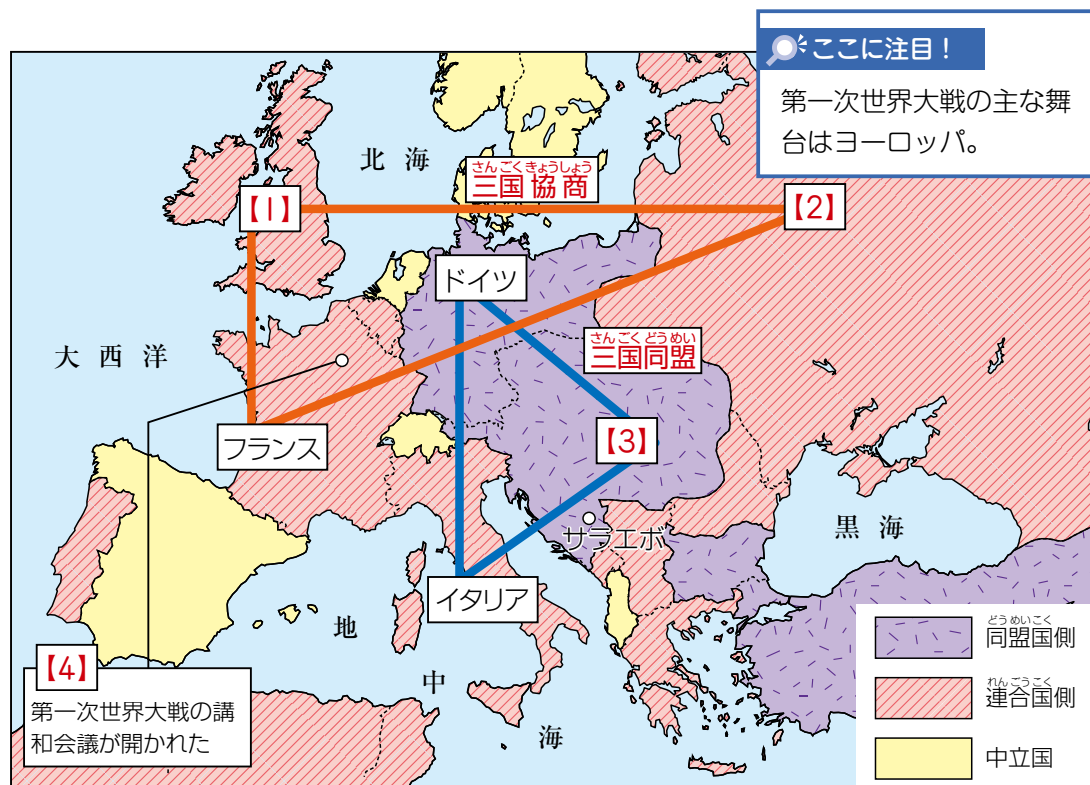
ポイント 獲得した領土を覚えよう！

- 日露戦争…1905年にロシアから樺太の南部（南樺太）を獲得
- 韓国併合…1910年に朝鮮を植民地とする

入試ではここが問われる！

- 日露戦争で戦場となった旅順などのある遼東半島の位置が問われます。
- 日露戦争で日本が獲得した領土はよく出題されます。日清戦争で獲得した領土などとまちがえないよう、区別して覚えておきましょう。

ヨーロッパを舞台に起こった第一次世界大戦のあらましをおさえ、日本はどのようにふるまったのかを理解しましょう。



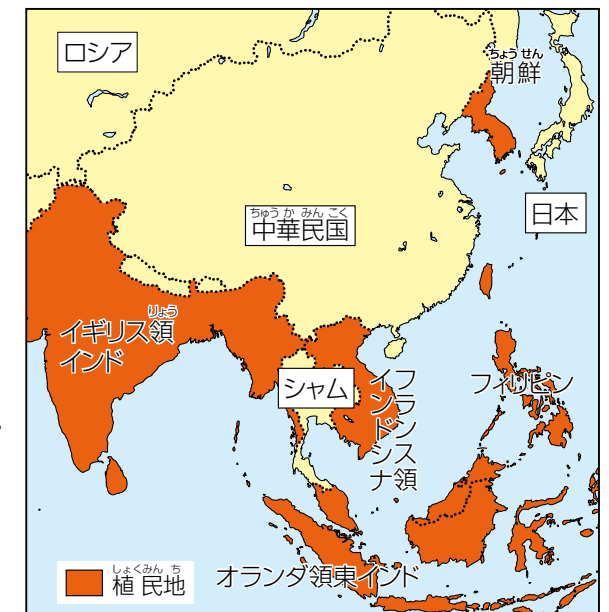
第一次世界大戦とヨーロッパ

第一次世界大戦

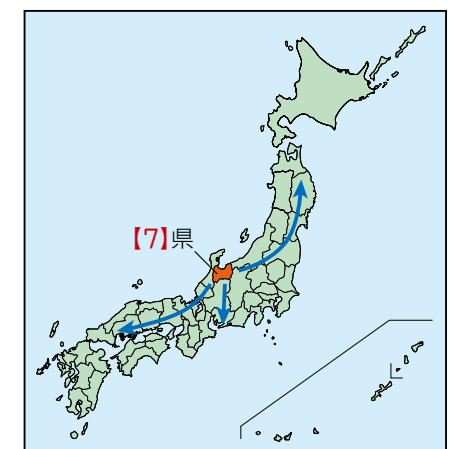
- 19世紀後半、ヨーロッパの国々はアジア・アフリカに多くの植民地をつくり、勢力の拡大をめぐるたがいに争うようになりました。
- ドイツ・[3]・イタリアは三国同盟、[1]・フランス・[2]は三国協商をそれぞれ結び、対立を深めていきました。
- 1914年、バルカン半島のサラエボで[3]の皇太子夫妻が暗殺されるという事件が起こり、これをきっかけに第一次世界大戦が始まりました。
- 第一次世界大戦では、ドイツ・[3]を中心とする同盟国と、[1]・フランスなどの連合国が戦い、ヨーロッパ各地が戦場となりました。
- 1918年、第一次世界大戦は同盟国側の敗北に終わりました。1919年にフランスの首都[4]で[4]講和会議が開かれ、ベルサイユ条約で国際連盟の設立が決められました。

第一次世界大戦と日本

- 日本は[6]同盟を理由に連合国側に立って参戦し、中国の山東省に出兵してドイツの拠点をこうげきしました。
- 1915年には、日本が中国に二十一か条の要求をおしつけ、山東省にドイツがもっていた権益を日本にゆずりわたすことなどを、中国に認めさせました。
- 1917年に[2]革命が起こって社会主義政権ができると、日本などの連合国は革命のえいぎょうをおそれて1918年から[5]出兵を行いました。
- [5]出兵を見越した米の買いしめなどで米の値段が急に上がると、[7]県の漁村の主婦が米の安売りを求めて立ち上がり、これをきっかけに米騒動が起こりました。



第一次世界大戦のころのアジア



米騒動

ポイント 日本がどう関わったかに注目しよう！

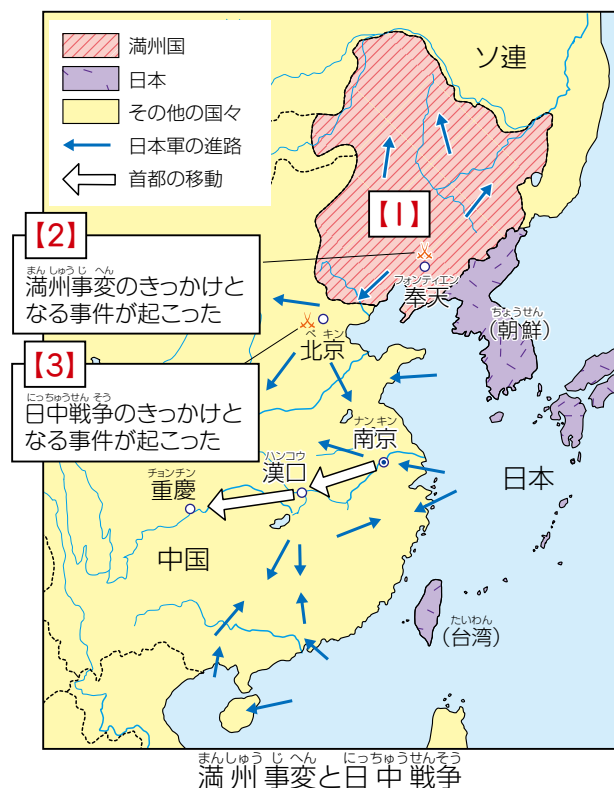
- 1914年、日英同盟を理由に連合国側で参戦、山東省に出兵
- 1918年、富山県での主婦の運動から米騒動が起こる

入試ではここが問われる！

- 第一次世界大戦に参戦した国々の位置や、米騒動に関する出題が見られます。
- アジアの各地域がヨーロッパのどの国の植民地であったかを問う発展的な問題も出題されることがあります。



1905年のポーツマス条約で遼東半島に進出する足がかりを得た日本は、1910年に朝鮮を植民地とし、大陸への進出をさらに強めていきました。そのような中で起こった満州事変と日中戦争について見ていきましょう。



満州事変と日中戦争

関連 ➡ 62 ページ 日露戦争と日本の領土拡大

昭和時代初めの日本

- 日本では1926年に大正時代が終わり、【4】時代が始まりました。
- 1929年からの世界恐慌のえいきょうもあって、不景気が深刻な状況となると、生活が苦しくなった人々は政府に不満をもつようになりました。
- 一部の軍人や政治家などは、「満州は日本の生命線」と考え、中国に勢力をのばして不景気を乗りこえようとしていました。満州は中国東北部のことで、その南部には日本が中国から借りていた旅順・大連が位置していました。

満州事変

- 1931年、南満州鉄道を守るため満州にいた日本の軍隊（関東軍）は、郊外の【2】で南満州鉄道を爆破し、これを中国軍のしわざとしてこうげきを開始しました。こうして満州事変が始まり、日本は満州の主要部を占領しました。
- 1932年、日本は清の最後の皇帝であった溥儀をかつぎ出し、【1】の建国を宣言させて中国から切りはなすとともに、政治の実権を手に入れました。
- 国際連盟が、【5】調査団を現地に送った結果、【1】の独立を認めないと決議したため、日本は国際連盟から脱退しました。

日中戦争

- 1937年、日本軍と中国軍が北京郊外の【3】でぶつかり、これをきっかけに中国全土に戦いが広がりました（日中戦争）。
- 日本は中国（国民政府）の首都であった南京など、中国の主要な都市を次々に占領していきました。
- 中国は首都を内陸部に移してねばり強く戦い、戦争は長期化しました。
- 1945年、日本が【6】宣言を受け入れて降伏し、戦争は終わりました。

ポイント 満州事変と日中戦争を区別して覚えよう！

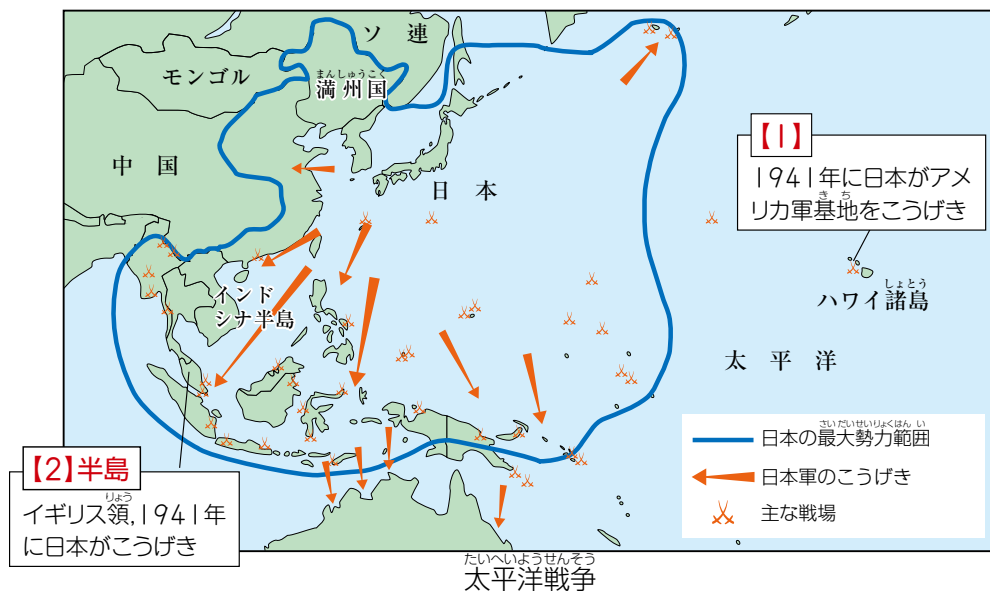
- 満州事変…1931年、奉天郊外の柳条湖で起こった鉄道爆破事件がきっかけで始まる
- 日中戦争…1937年、北京郊外の盧溝橋で起こった日本軍と中国軍のしょうとつがきっかけで始まる

入試ではここが問われる！

- 地図に示されたいくつかの地域の中から、満州はどれか選ばせる問題がよく出題されます。
- 満州事変や日中戦争について、開戦のきっかけとなった事件が起こった場所を地図の中から選ばせる問題もよく出題されます。
- 南京の位置を問う問題が出題されることもあります。

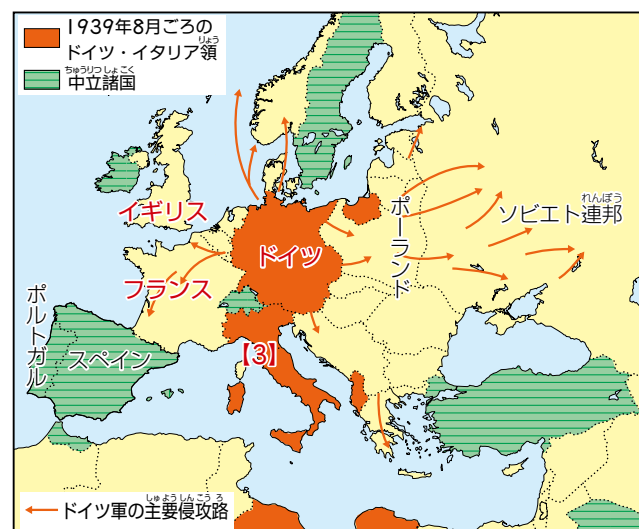
第二次世界大戦と太平洋戦争

ヨーロッパで始まった第二次世界大戦に日本はどのように関わっていったのでしょうか。地図で位置を確認しながら理解を深めましょう。



第二次世界大戦の始まり

- 1939年、ヒトラーを指導者とするドイツがポーランドにせめこむと、イギリスとフランスがドイツに宣戦し、第二次世界大戦が始まりました。
- [3] は、ドイツの側に立って参戦しました。
- 日本は、1940年にドイツ・[3] と日独伊三国軍事同盟を結びました。



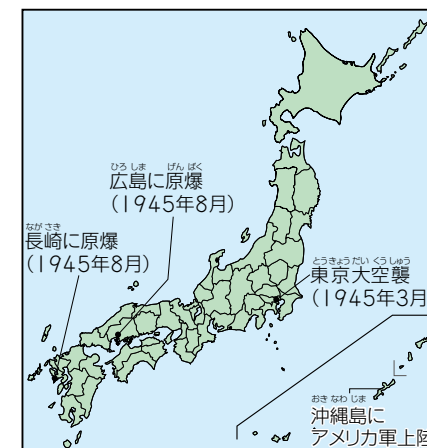
第二次世界大戦とヨーロッパ

太平洋戦争の開戦と戦線の拡大

- 日中戦争（1937～1945年）が長引く中、日本は、石油などの資源を求めて東南アジアのインドシナ半島に兵を進め、イギリス・アメリカ合衆国（アメリカ）などとの対立を深めました。
- 1941年、日本軍がイギリス領の[2] 半島や、ハワイの[1] にあるアメリカ軍基地を不意打ちこうげきしたことから、[4] 戦争が始まりました。
- [4] 戦争の戦場は、東南アジア各地から太平洋の島々にまでおよび、初めのうち日本は相次ぐ勝利で占領地を拡大していきました。
- 1942年以降、アメリカなどの連合国の反撃で、日本は敗戦を重ねていきました。

日本の敗戦

- 1944年からは、日本各地の都市がアメリカ軍の空襲を受けるようになりました。
- 1945年3月に沖縄戦が始まり、4月にはアメリカ軍が沖縄島に上陸しました。激しい戦いの中で、兵士のみならず多くの住民が命をうばわれました。
- アメリカ軍は、1945年8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾（原爆）を投下しました。広島と長崎は一瞬にして焼け野原になり、何十万人もの命が失われました。
- 1945年8月14日、日本政府は[5] 宣言の受け入れを決定し、昭和天皇が8月15日にラジオ放送で国民に降伏を伝えました。



広島・長崎への原爆投下

ポイント ヨーロッパの地図も見ておこう！

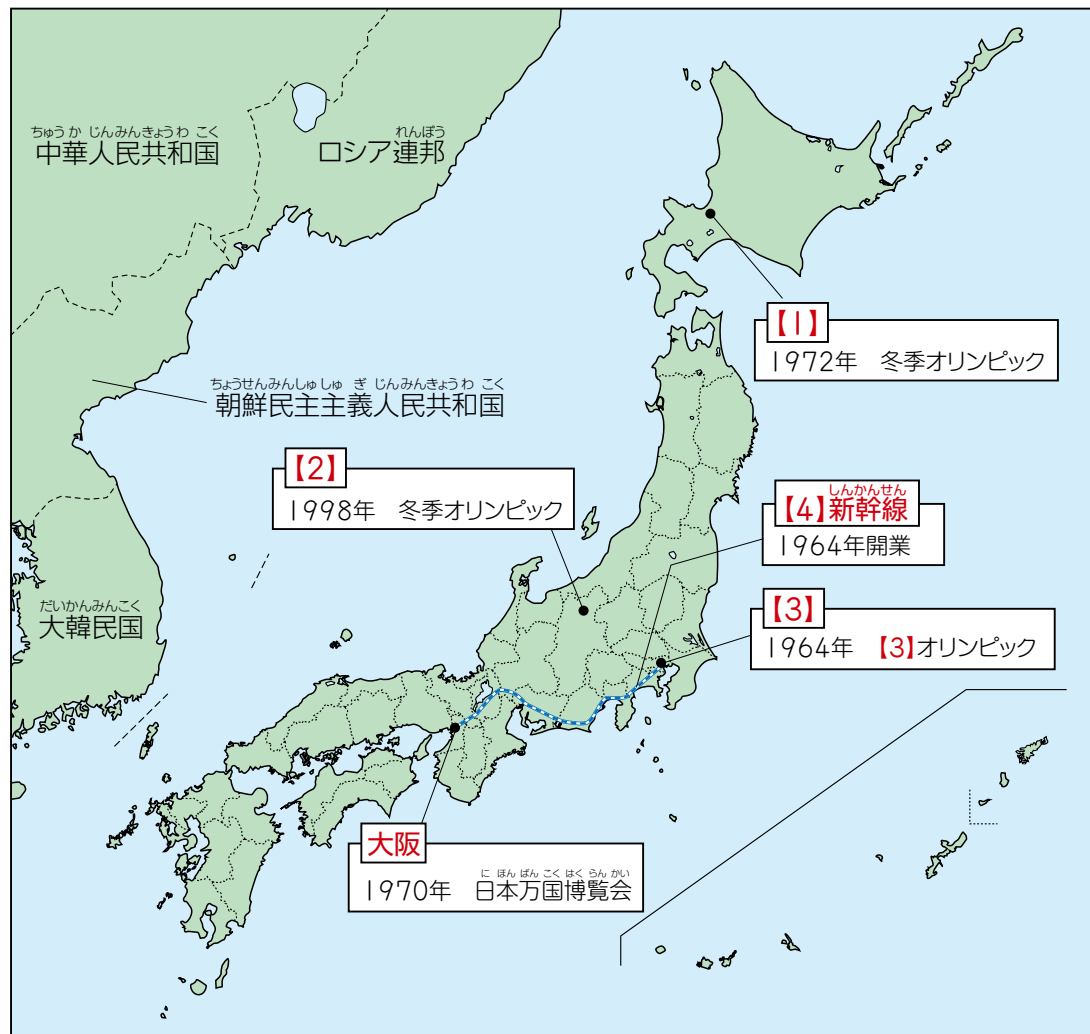
- 1940年に日本が軍事同盟を結んだ国…ドイツ・イタリア
- 太平洋戦争を始めるさい、日本がこうげきした場所…マレー半島・真珠湾
- 原爆の投下…1945年8月6日に広島、8月9日に長崎

入試ではここが問われる！

- 真珠湾やマレー半島、広島や長崎の位置を地図の中から選ばせる問題がよく出題されます。
- 太平洋戦争で日本が進出した範囲が問われることもあります。
- 第二次世界大戦について、ドイツなどの位置を問う問題も見られます。

26 戦後の日本と世界

第二次世界大戦で敗戦国となった日本が、主権を回復し、経済発展をとげてゆく過程を理解する上で重要な地名をおさえましょう。



戦後の日本

日本の独立と領土の回復

- 連合軍の占領下に置かれた日本は、1951年のサンフランシスコ平和条約で独立を回復するとともに、千島列島・南樺太などの領土を放棄しました。
- 独立後もアメリカ合衆国（アメリカ）の統治下に置かれていた地域のうち、奄美群島は1953年、小笠原諸島は1968年、沖縄は1972年に日本に返還されました。
- 沖縄には現在でも多くのアメリカ軍基地があります。

戦後の日本と周辺の国々

- 朝鮮半島では、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）と大韓民国（韓国）の間で、1950年に朝鮮戦争が起こりました。
- 1956年、日本はソビエト連邦（ソ連）との国交を回復しました。戦後にソ連が占領した北方領土は返還されないまま、1991年にソ連は解体し、ロシア連邦（ロシア）に引きつがれました。
- 1956年、日本の国際連合（国連）加盟が実現しました。国連の本部はアメリカのニューヨークにあります。
- 1965年、日本は日韓基本条約を結び、韓国と国交を正常化しました。
- 中華人民共和国（中国）とは、1972年に国交を正常化し、1978年に[5]条約を結びました。



日本とその周辺



サンフランシスコとニューヨークの位置

日本の高度経済成長

- 1950年代後半から高度経済成長期に入った日本では、1964年に[3]でオリンピックが開催され、これに合わせて[4]新幹線が開通しました。
- 1972年には[1]、1998年には[2]で冬季オリンピックが開催されました。
- 1970年には日本万国博覧会が大阪で開かれ（大阪万博）、2005年には愛知万博も開かれました。
- 急激な経済発展は各地で公害を引き起こしました。水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく・新潟水俣病は合わせて四大公害病と呼ばれます。

ポイント 地図で場所を確かめよう！

- 沖縄…1972年にアメリカから返還
- オリンピック…東京・札幌・長野で開催

入試ではここが問われる！

- オリンピックの開催地や北方領土をめぐる問題はよく出題されます。
- 地図に示された周辺諸国との関係について述べた文章の正誤を判断する問題なども見られます。